

前号目次

古典の味

ベートーヴェンのミサ・ソレムニス解説

石倉小三郎

椎名麟三論

——その信仰と文学——

中野 恵海

デザインの創造

——その方法論——

山本登美子

「D・スカララッティ」ノート

馬淵卯三郎

反応性染料の染色機構

浜崎 弥市

前々号目次

「二種深信」に表現された宗教の本質

岡 邦俊

道徳と宗教

松永 大覚

徳育場の研究(四)

荒井 貞雄

音楽の存在方式認識に関する一つの反省

酒井 醇

シヨパン論(一)

佐藤 允彦

生物の R.C.E. System に関して

富田 朋介

三勝半七の伝と文芸(その二)

沼波 守

京都市の組物業

山木 薫

書評紹介

The Three R's Plus

荒井 貞雄

寐覚物語全釈

田中重太郎

The Sense of Music

馬淵卯三郎

学園だより

昭和三十六年度演奏旅行

年度始めより計画準備が進められていた本年度の演奏旅行は四国一週八回公演の旅であつた。柴田睦陸、伊藤京子両氏も全行程に同行、学生六十五名が参加、各会場共にクラシックファンにうづめられ、主催地の官庁、新聞社、労音等に意外の歓迎を受けつつ無事その目的を達し得た事は何よりであつた。今回の演奏旅行は八回公演中学生対象が三回、地方芸術祭参加が二箇所、松山、徳島では特に相愛女子大コンサートとして地元の御声越を得た事を感謝したい。尚片岡みどり教授は高知、徳島、東儀祐二助教授は徳島に出演した。日程は次の通りである。

十一月十六日(夜) 於高松市民会館

主催 香 川 二 期 会
 後援 香 川 教 育 委 員 会
 N H K 支 局
 R . N . C
 十七日 午前 於高松女子高校ホール(学生対象)
 於普通寺中央小学校講堂
 主催 西 香 川 労 音
 後援 普通寺市教育委員会

昭和三十六年度演奏旅行 第二回宗教音楽研修会

四国学院短大学生会

十八日 午後 於松山済美館(学生対象)

於松山済美館

主催 えひめ 女性通信
 後援 愛媛新聞社

南海放送
 愛媛県教育委員会

十九日 夜 於高知中央公民館

主催 高知県芸術祭執行委員会
 後援 高知新聞社 其他

二十一日 午后 於小松島高校講堂(学生対象)

夜 於徳島市民会館
 主催 徳島県高校音楽学会
 徳島文化会館建設同盟

徳島労働音
 徳島相愛学園後援会

後援 徳島県市教育委員会
 徳島新聞社

第二回宗教音楽研修会

斯界の要望に答えて昨年に引き続き第二回宗教音楽研修会が八月一日より六日迄本学講堂で開催された。主なる講師と内容は次の通りである。

一、東洋音楽と仏教音楽 東京大学 岸边 成雄

一、礼拝と音楽 立教大学 皆川 達夫

一、邦楽と仏教音楽 お茶の水女子大学 吉川 英史

一、声明文献紹介 関西大学 平野 健次

一、大原声明の研究 京都市立音楽短大 片岡 義道

一、仏教音楽の作品研究 本学学部長 山田 耕筈

一、仏教聖歌の研究と実習 本学助教 大橋 博

一、オルガン研究 同 講師 品川 三郎

一、オルガン研究 同 本学助教 馬淵卯三郎

一、オルガン研究 同 水谷 堅

尚八月五日夜には仏教音楽を中心とした演奏会を開き多大の感銘を与えた。

一、独唱と合唱 本学学生 指揮 品川 三郎

二、壬生大念仏狂言 指揮 東 儀 祐 二

三、相愛オーケストラ 指揮 東 儀 祐 二

八月六日最終日には「音楽法要」をテーマとする討論会を各講師を中心に岸辺成雄氏を座長として行われた。会員より活潑な意見が述べられ、将来への大きな示唆を与えられた。(仲記)

相愛学園図書館読書会 (第二十二回)

八月二十六、七日の両日にかけて一泊。大津市坂本日吉会館にて第二十二回相愛読書会を開催した。

夏期休暇に行く読書会は卒業生をも対象とした対外活動として七、八年も続けられている。その為、出席者も四十一名のう

ち二十三名までが卒業生で、過半数をしめることになった。

暑い盛りの三時過ぎ、日吉会館に到着、お風呂で汗を流し、琵琶湖の面を渡つて来る涼風に胸を開きながら、蠅の声など聞いているうちに、はや五時近くなる。

メンバーもすつかり揃つたので五時かつきり本題の対論に入った。

今回は現代教養文庫一一八より木村健康著「青年期の苦しい幸福」を抜粋してテキストにする。

最初、荒井教授が内容についての解説をされた。「青年には二つのタイプがある。その一つは自信型であり、他の一つは自信喪失型である。しかしこの分類のみで青年を割り切つてしまふことはむづかしい。同一人でも、ある時は自信型に見える、且つ又ある時は自信喪失型に見える。だから真相を言うなれば、両要素を持つ混合型である。青年の心の中には常時、自信と絶望、昂揚と沈滞、歓喜と悲哀の波が去来して青年の生活のリズムを作り出している。その為に生活は変化的動揺である。この動揺の根源は青年の生活がまだ「形なき生活」であるからだ。形のない状態からだんだんと形を作り、次により完全な形に向きさせていくのである。

「青年期に自信を失つては何事も伸して行くことは出来ない。自信を持つ事は重要であり、正しい意味では自信を強めることである。」と対論の糸口を与えられると、途端に各自が面白い自己分析を行い、止る処を知らない程の活気を呈した。中でも田中教授のユーモラスな問の手が会の雰囲気一段と盛りあ

げ、一同笑いの止まらなかつた事である。二十二教授は力道山の自信にみちた勝負師の根性について話され、高校の中野先生は現代青年の心理について私達の興味を引くような寓話をされた。一人川喜多先生は女性の立場から、妻として夫に対する強い自信を御自分の経験から話される。

六時半、一応会を閉じて琵琶湖の川魚料理に舌つづみを打つ。

夕食後は大宮橋の近くに聳ゆる巨大な杉の梢に皎々と輝く月を仰ぎながらキャンプファイヤーを囲んで歌合戦や福引きのレクリエーションに興じた。

翌朝は七時に起床。山間の澄んだ空気と緑一色で調和された参道を案内されて山王総本宮に参拝した。緑の中に檜皮葺の山王造りの朱が朝日を浴びて、ひととき新鮮かであった。

朝食を済ませて九時より昨日の読書会の延長戦を開始、荒井教授の留学当時に於ける青年期の自信と抱負についてのお話をお聞きなどして久々に厚味のある時を過ごした。

午前十一時読書会は散会。正午より有志による教育懇談会を開く。四月から各自が研究したデーターを持ちよつて発表し合ひ、次会の研究課題についての簡単な打合せを済ませて三時半に閉会した。

琵琶湖に下りる者、比叡山に登る者などと自由行動を取つた。

(吉田記)

相愛オーケストラ第三回定期演奏会

昭和三十一年秋に発足した本学園オーケストラもすでに五年の歳月を閲したが、三十六年度の定期演奏会、A B C室内楽鑑賞会第十二回例会として、

十一月二十八日(火)午後六時半 朝日会館において朝日放送の後援により開催された。

B組オーケストラ

ハイドン 「玩具交響曲」

シューベルト 「楽興の時」

パデレフスキー 「メヌエット」

A組オーケストラ

ビバルディ「夏(四季)より」(V. 田淵彰、Vc. 岩崎洗、

P. 大垣内みどり)

バッハ 「シャコンヌ」

シュトラウス「美しく青きドーナウ」

(なお、右の曲目中、ビバルディとバッハは十二月二十一日(木)の夜、朝日放送から録音によつて放送された。)

第七回 公開講座

十一月二十七日(月) 午後三時より本学講堂において

講師 齊藤秀雄 教授
題目 「演奏解釈について」

図書館棚だより

般教育関係

- 大日本近世資料 第二一・二二回 東京大学史料編纂所編 (昭三六)
- 大日本史料 第五五回・五六回・五七回 // (昭三六)
- 大日本資料 第六編 // (昭三六)
- 群書解題 第一九卷一〇卷 統群書類従完成会編 (昭三六)
- 親鸞聖人全集 | 教行信証(2) | 親鸞聖人全集編集同人編 (昭三六)
- 大正新脩大藏経 第一五・五二・五七・七三卷 大正新脩大藏経刊行会 (昭三六)
- 出版年鑑 一九六一年版 出版ニュース社 (昭三六)
- 明治文化資料叢書 第一卷 明治文化資料叢書刊行会 (昭三六)
- 新装 日本文化史 (江戸時代) 辻 善之助 著 (昭三五)
- 保存版 日本文化史 (江戸時代) 辻 善之助 著 (昭三五)
- 近代中国研究 近代中国研究委員会編

- 新装保存版日本文化史(明治時代)辻 善之助 著 (昭三六)
- 近代中国研究 一〜三輯 中国研究委員会編 (昭三四)
- 士族と士族意識 福地 重孝 著 (昭三一)
- 日本武士道詳論 磯野 清 著 (昭一六)
- ギリシャの哲学(五冊) 山内 得立 著 (昭三五)
- 十七世紀の思想的風土 深瀬 基寛 著 (昭三三)
- フランス啓蒙思想の研究 松平 齐光 著 (昭三三)
- アナクシマンドロスの言葉 ハイデッガー 田中 和夫 訳 (昭三二)
- 愛のロゴスとパトス M・C・ダーシー 井筒 俊彦 訳 (昭三二)
- ルソー研究 桑原 武夫 編 (昭三二)
- キルケゴール小伝 W・ラウリ 大谷 長 訳 (昭三三)
- 国家の神話 E・カッシーラー 宮 田 光雄 訳 (昭三五)
- 行動の機構 D・O・ハップ 白 井 常 訳 (昭三二)
- 明治哲学史研究 中川善之助 著 (昭三四)
- 民法講話 夫婦・親子 毎日新聞社会学部 (昭三六)
- 新しい愛国心 世界に伸びゆく日本 世界知識普及会編 (昭三六)
- 世界に伸びゆく日本 日本新聞百年史 日本新聞連盟 (昭三六)
- 親鸞聖人の教学と伝記 真宗連合学会編 (昭三六)
- 仏教学関係 雑誌論文分類目録 竜谷大学図書館 (昭三六)

国文料関係

- シエクスピア全集 一四卷 福田 恒存 訳 (昭三六)
 未刊国文資料—平家物語(2)—高橋 貞一 編 (昭三六)
 近代文学研究叢書 一七卷 人見 円吉 著 (昭三六)
 万葉集 注釈 九卷 沢瀧 久孝 著 (昭三六)
 国宝事典 文化財保護委員会編 (昭三六)

音楽関係

- Riemann Musik Lexikon. Wilhald Gurtt. C. 1961.
 Baker's Biographical Dictionary of Musicians.
 Nicolas Slonimsky. C. 1958.
 M. G. G. (Die Musik in Geschichte und Gegenwart)
 Band. 6.7.8.9. Friedrich Blume. C. 1957.

家政科関係

- 冷凍の原理と其応用 長岡 順吉 著 (昭三六)
 食品冷凍の理論と応用上・下加藤 舜郎 著 (昭三五)
 缶詰の製造 谷川 英一 著 (昭三六)
 食品の生産加工貯蔵 井上 憲政 著 (昭三五)
 栄 養 島 蘭順 著 (昭三五)
 化学大辞典 六卷 化学大辞典編集委員会編 (昭三六)
 初等家庭機械工学 吉田 元 著 (昭三五)

図書館棚だより

The Biochemistry of the Nucleic Acids.

J. Nd Davidson. C. 1960.

Lipide Chemistry Donala J. Hanahan. C. 1960.

Lipide Metabolism. Konrad Bloch. C. 1960.

Nutritional Evaluation of Food Processing.
Robert S. Harris. C. 1960.

教職関係

- 新制大学設置認可申請及審査関係書類 謄写刷一括
 日教組十年史 日本教職員組合編 (昭三三)
 教科書の歴史 唐沢 富太郎 著 (昭三五)
 我が国に於ける児童観の発達石川 謙 著 (昭二四)
 デザイン教育(小学校一・二年、五・六年)
 倉田 三郎他編 (昭三六)
 (昭三六年一〇月二〇日現在)

消 息

○田中万美子助手リサイクル 五月三十日 於産経会館

○徳末悦子教授リサイクル 十二月十三日

於日立ミュージック、ホール

○真理の服装(第四版 三十七年一月)

山本登美子著

印刷 新騰社